

令和7年度 農作物病虫害発生予察10月月報

令和7年(2025年)11月4日
山口県病虫害防除所

I 気象概況

アメダス山口県山口地点

月・半旬	気 温 (℃)								
	平 均			最 高			最 低		
	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差
10.1	22.7	20.3	2.4	27.7	25.9	1.8	19.0	15.9	3.1
10.2	23.9	19.4	4.5	30.1	25.2	4.9	19.4	14.8	4.6
10.3	24.1	18.4	5.7	30.8	24.4	6.4	19.9	13.6	6.3
10.4	22.0	17.3	4.7	26.7	23.5	3.2	18.9	12.4	6.5
10.5	16.8	16.2	0.6	21.4	22.4	△ 1.0	12.1	11.3	0.8
10.6	14.1	15.1	△ 1.0	19.9	21.2	△ 1.3	9.3	10.1	△ 0.8
平均・計	20.6	17.8	2.8	26.1	23.8	2.3	16.4	13.0	3.4
月・半旬	降水量(mm)			日照時間(h)					
	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差			
10.1	41.0	22.1	18.9	19.2	25.3	△ 6.1			
10.2	0.5	16.2	△ 15.7	37.8	26.1	11.7			
10.3	13.0	14.0	△ 1.0	35.3	27.6	7.7			
10.4	9.0	15.2	△ 6.2	15.9	28.5	△ 12.6			
10.5	12.0	15.1	△ 3.1	20.8	28.2	△ 7.4			
10.6	12.5	15.6	△ 3.1	36.5	33.0	3.5			
平均・計	88.0	98.2	△ 10.2	165.5	168.7	△ 3.2			

II 作物の生育状況

- (1)カンキツ : 果実肥大は平年よりもやや大きく推移している。糖度は平年よりもやや低い傾向にあり（一部品種を除く）、酸度は低く推移している。着色は高温で推移していることから遅れている。
- (2)キャベツ : 定植後の降雨による湿害で、生育が停滞したほ場もあったが、回復し順調に生育している。収穫開始時期は例年並みとなる見込み。
- (3)イチゴ : 「かおり野」については、順調に活着し生育は順調に進んでいる。花芽分化は昨年よりも早い傾向にあった。本格的な出荷は平年並みとなる見込み。

Ⅲ 病害虫の発生状況

1 果樹

2025年10月

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積(ha)	
カンキツ (調査ほ場数:19) (果実調査ほ場数:18) 黒点病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率94.4% (平年94.8%)、発病果率51.9%(平年 39.6%)、発病度11.9(平年10.1)で平年 に比べやや多かった。	県内全域	中	269
			少	644
			計	913
かいよう病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率11.1% (平年9.3%)、発病果率2.2%(平年 1.0%)、発病度0.8(平年0.4)で平年に比 べやや多かった。	県内全域	中	54
			少	54
			計	108
ミカンハダニ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率21.1% (平年21.2%)、寄生葉率0.4%(平年 2.4%)で平年に比べやや少なかった。	県内全域	少	215
ミカンサビダニ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率5.6% (平年1.6%)、被害果率0.6%(平年 0.0%)で平年に比べ多かった。	県内全域	中	54
ナシマルカイガラ ムシ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率27.8% (平年24.2%)、寄生果率2.4%(平年 1.4%)で平年に比べやや多かった。	県内全域	中	215
			少	54
			計	269
チャノキイロアザ ミウマ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率16.7% (平年9.4%)、被害果率1.1%(平年 0.2%)、被害度0.3(平年0.1)で平年に 比べ多かった。	県内全域	中	54
			少	107
			計	161
ヤノネカイガラ ムシ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率5.3% (平年1.0%)で平年に比べ多かった。	県内全域	少	54
イセリアカイガ ラムシ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率5.3% (平年3.8%)で平年に比べやや多かつ た。	県内全域	少	54
ミカンバエ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率0%(平 年1.5%)で平年並みであった。	—	—	—
果樹全般 カメムシ類(チャ バネアオカメム シ、ツヤアオカメ ムシ、クサギカメ ムシ)	9月26日～10月25日の予察灯(県内3か 所)の誘殺数は262頭(平年173頭)で平年 に比べやや多かった。主要種はツヤアオ カメムシであった。	県内全域	—	—

2 野菜

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積(ha)
キャベツ (調査ほ場数:12) 黒腐病	中旬の巡回調査では、発生ほ場率0%(平 年0.9%)、発病株率0%(平年0.0%)、発 病度0(平年0.0)で平年並みであった。 下旬の巡回調査では、発生は認められず 平年並みであった。	—	—

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積 (ha)	
キャベツ べと病	中旬の巡回調査では、発生は認められず 平年並みであった。 下旬の巡回調査では、発生は場率0% (平年0.8%)、発病株率0% (平年 0.0%)、発病度0 (平年0.0) で平年並 みであった。	—	—	
萎黄病	中旬、下旬の巡回調査では、発生は認め られず平年並みであった。	—	—	
ハスモンヨトウ	中旬の巡回調査では、発生は場率100% (平年64.4%)、寄生株率21.0% (平年 7.2%) で平年に比べ多かった。 下旬の巡回調査では、発生は場率100% (平年60.0%)、寄生株率21.3% (平年 6.4%) で平年に比べ多かった。	県内全域	甚	40
			多	40
			中	40
			少	40
			計	160
コナガ	中旬の巡回調査では、発生は場率41.7% (平年25.7%)、10株当たり虫数0.2頭 (平年0.1頭) で平年に比べやや多かっ た。 下旬の巡回調査では、発生は場率41.7% (平年25.0%)、10株当たり虫数0.5頭 (平年0.2頭) で平年に比べやや多かっ た。	県内全域	少	67
オオタバコガ	中旬の巡回調査では、発生は場率33.3% (平年27.6%)、寄生株率4.5% (平年 1.4%) で平年に比べやや多かった。 下旬の巡回調査では、発生は場率58.3% (平年25.0%)、寄生株率1.7% (平年 1.0%) で平年に比べやや多かった。	県内全域	中	13
			少	81
			計	94
ウワバ類	中旬の巡回調査では、発生は場率58.3% (平年19.7%)、寄生株率7.0% (平年 1.1%) で平年に比べ多かった。 下旬の巡回調査では、発生は場率58.3% (平年25.0%)、寄生株率4.8% (平年 1.2%) で平年に比べ多かった。	県内全域	多	40
			中	27
			少	27
			計	94
モンシロチョウ	中旬の巡回調査では、発生は場率8.3% (平年11.4%)、10株当たり虫数0.0頭 (平年0.1頭) で平年並みであった。 下旬の巡回調査では、発生は場率8.3% (平年11.7%)、10株当たり虫数0.0頭 (平年0.0頭) で平年並みであった。	県内全域	少	13
ヨトウガ	中旬の巡回調査では、発生は場率8.3% (平年3.6%)、寄生株率0.2% (平年 0.2%) で平年に比べやや多かった。 下旬の巡回調査では、発生は場率25.0% (平年4.2%)、寄生株率0.5% (平年 0.1%) で平年に比べ多かった。	県内全域	少	40

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積 (ha)	
キャベツ シロイチモジヨトウ	中旬の巡回調査では、発生ほ場率83.3% (平年18.6%)、寄生株率8.3% (平年1.6%) で平年に比べ多かった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率58.3% (平年18.3%)、寄生株率3.8% (平年1.7%) で平年に比べやや多かった。	県内全域	多	13
			中	81
			少	40
			計	134
ハイマダラノメイガ	中旬の巡回調査では、発生ほ場率33.3% (平年1.7%)、被害株率4.8% (平年0.0%) で平年に比べ多かった。	県内全域	甚	13
			少	40
			計	53
アブラムシ類	中旬の巡回調査では、発生ほ場率33.3% (平年39.5%)、寄生株率0.7% (平年2.5%) で平年に比べやや少なかった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率16.7% (平年35.8%)、寄生株率0.7% (平年2.1%) で平年に比べやや少なかった。 主要種はニセダイコンアブラムシであった。	県内全域	少	54
イチゴ (調査ほ場数:20) うどんこ病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年12.0%)、発病株率0% (平年2.3%)、発病葉率0% (平年1.3%) で平年に比べ少なかった。	—	—	
炭そ病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率15.0% (平年5.1%)、発病株率0.1% (平年0.1%) で平年に比べ多かった。	県内全域	少	14
萎黄病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年6.5%)、発病株率0% (平年0.4%) で平年に比べ少なかった。番外で発生が認められた。	県内全域	少	1
アブラムシ類	下旬の巡回調査では、発生ほ場率55.0% (平年26.7%)、寄生株率10.4% (平年5.1%) で平年に比べやや多かった。 主要種はワタアブラムシであった。	県内全域	多	5
			中	5
			少	43
			計	53
ハスモンヨトウ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率30.0% (平年16.1%)、寄生株率1.7% (平年0.7%) で平年に比べ多かった。	県内全域	多	5
			少	24
			計	29
オオタバコガ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年3.0%)、寄生株率0% (平年0.1%) で平年並みであった。	—	—	
シロイチモジヨトウ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年0.5%)、寄生株率0% (平年0.0%) で平年並みであった。	—	—	
ハダニ類	下旬の巡回調査では、発生ほ場率25.0% (平年20.6%)、寄生株率7.2% (平年6.9%) で平年並みであった。 主要種はナミハダニであった。	県内全域	多	5
			少	19
			計	24

病虫害名	発生状況	発生地域	発生面積 (ha)																		
イチゴ コナジラミ類	下旬の巡回調査では、発生ほ場率5.0% (平年11.4%)、寄生株率0.1%(平年 1.4%)で平年に比べやや少なかった。	—	少 5																		
アザミウマ類 (調査ほ場数：4)	下旬の巡回調査では、発生ほ場率50.0% (平年14.1%)、寄生花率4.5%(平年 1.1%)で平年に比べやや多かった。 主要種はヒラズハナアザミウマであつた。	県内全域	甚 5																		
			少 5																		
			計 10																		
野菜、花き類 アブラムシ類	10月の黄色水盤トラップ(防府市牟礼) の誘殺数は51頭(前年253頭)であつた。	県内全域	—																		
ハスモンヨトウ	10月のフェロモントラップ(防府市牟礼) の誘殺数は8,894頭(前年10,529 頭)であつた。 9月21日～10月20日の県内他地点のフェ ロモントラップの誘殺数は、以下のとお りであつた。 フェロモントラップでの誘殺数(頭) <table><tr><th>地点</th><th>本年</th><th>平年</th></tr><tr><td>周南市熊毛</td><td>4,496</td><td>2,793</td></tr><tr><td>山口市阿東</td><td>1,061</td><td>611</td></tr><tr><td>萩市明木</td><td>210</td><td>268</td></tr><tr><td>下関市清末</td><td>2,123</td><td>2,220</td></tr><tr><td>柳井市伊陸</td><td>1,637</td><td>1,928</td></tr></table> ※9月21日～10月20日の合計	地点	本年	平年	周南市熊毛	4,496	2,793	山口市阿東	1,061	611	萩市明木	210	268	下関市清末	2,123	2,220	柳井市伊陸	1,637	1,928	県内全域	—
		地点	本年	平年																	
		周南市熊毛	4,496	2,793																	
		山口市阿東	1,061	611																	
		萩市明木	210	268																	
		下関市清末	2,123	2,220																	
		柳井市伊陸	1,637	1,928																	
オオタバコガ	10月のフェロモントラップ(防府市牟礼) の誘殺数は1頭(前年570頭)であつた。	県内全域	—																		
シロイチモジヨトウ	10月のフェロモントラップ(防府市牟礼) の誘殺数は737頭(前年138頭)であつた。	県内全域	—																		
コナガ	10月のフェロモントラップ(防府市牟礼) の誘殺数は2頭(前年7頭)であつた。	県内全域	—																		

お問い合わせ先

山口県農林総合技術センター(山口県病虫害防除所)

TEL (0835)28-1211(代)

E-mail a172011@pref.yamaguchi.lg.jp